

令和4年度 学校評価報告書

名古屋市立若宮商業高等学校長

1 教育目標及び本年度の努力点

教育目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 清新・潑刺・颯爽とした人を育てる。</li> <li>2 思いやりの心と協働の精神を育み、社会に貢献できる人物を育成する。</li> <li>3 産業人として必要な資質を養うとともに、一般的な教養を有する人財を育成する。</li> </ol>
本年度の努力点	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基本的な生活習慣を確立し社会性を育成する。</li> <li>2 挨拶を通して、良好な人間関係を構築し、自他を認め合う心や人権を尊重する態度を育成する。</li> <li>3 身だしなみ、言葉使い、時間などに気を配り、基本的な生活態度を身につけさせる。</li> <li>4 ICTが活用できる学習環境を整え、一人ひとりに応じた個別最適化された学びを提供し、学習への意欲的な取り組みと検定・資格の取得を促す。</li> <li>5 学校の情報を広く保護者に知らせ、成果の点検に努める。</li> </ol>

2 評価結果の概要

対象	項目	具体的方策	評価結果と課題、次年度への改善策等
学習指導	個別最適化された学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Microsoft Teams やロイロノート・スクールの積極活用</li> <li>・生徒の状況に応じたオンラインやオンデマンド授業等の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Microsoft Teams やロイロノート・スクールの活用し、生徒への課題の指示や、生徒が提出した課題に対するフィードバックをオンラインで実施した。加えて、生徒の学習状況に見合ったフィードバック（コメント等）をオンライン上で個別に実施した。</li> <li>・自宅療養中等の生徒に対して、オンラインやオンデマンドによる授業を実施し、学習保障を行った。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 登校できず不安を抱えている生徒に対してオンライン授業を実施することにより、生徒の学習進度の遅れ等に対する不安を一定程度取り除くことができた。</li> <li>→ 今後はデジタル教材の割合を増やし、生徒一人ひとりの特性に合わせた学習を提供できるようにしていく必要がある。</li> </ul> </li> </ul>
生徒指導	学ぶ環境を整える指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみ指導を中心とした生活指導の実施</li> <li>・ゆとり登校を含めた遅刻指導の徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみを整える指導を継続し、生徒が集中して学習に向かうことができる環境づくりを行った。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 落ち着いて学ぶ環境が少しずつ整ってきている。</li> </ul> </li> <li>・基本的な生活習慣確立のため、遅刻の多い生徒に対して個別にゆとり登校指導を実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ ゆとりを持って登校できるように指導することで、登校時の安全指導にもつながった。</li> </ul> </li> </ul>
進路指導	個別のニーズに対応した進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの個別のニーズに対応した相談活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が自己のキャリアについて深く考える活動を通じて、生徒一人ひとりが将来に向けて必要となることや課題等について考えさせた。</li> <li>・担任や進路指導部員だけでなく、キャリアナビゲーター、キャリア支援アドバイザーとの個別相談の機会を積極的に提供し、生徒一人ひとりの個別のニーズに対応した相談活動を実施した。             <ul style="list-style-type: none"> <li>→ 生徒一人ひとりのニーズを深掘りした個別相談を実施できたが、個別相談に積極的に参加しない生徒への対応が課題である。</li> </ul> </li> </ul>